別紙様式２

授業科目名	職業と家庭生活の設計	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	基礎教育科目	開講時期	後期
学部・学科等	子ども生活学部	曜日	金曜日
必修・選択区分	必修	時限（時間）	２時限（10 時 50 分～12 時 20 分）
標準対象年次	1 学年	授業形態	講義
単位数	2 単位	授業会場	長坂キャンパス
担当教員名	蟹江教子		
電話番号（代表者名）	028-649-0511 （学務課　須藤）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		
授業の概要	＜授業の目標及びねらい＞ 今日では、人生のどの時期に就職するか、結婚するかしないか、子どもを持つかもたないか、人々の生き方や働き方はきわめて多様になっている。「職業と家庭生活の設計」では、生涯を通じて自分の興味、関心にあった職業を継続し、職業上の能力を高めていくために必要なキャリアプランを立て、職業と家庭生活のバランスをとって生活することの必要性について学ぶ。 ＜前提とする知識・経験＞ 特になし ＜授業の具体的な進め方＞ 授業で配布する資料を中心に講義形式で進めるが、適宜、グループディスカッションなども行い、他者の意見や考え方を知る機会を設ける。幼稚園や保育所以外の職場見学も予定している。 ＜授業計画＞ 第 1 週　キャリアとは何か 第 2 週　働くことの意味 第 3 週　日本人の働き方 第 4 週　家族の形成(1)結婚をめぐる諸問題 第 5 週　家族の形成(2)子育てをめぐる諸問題 第 6 週　職場における男女差 第 7 週　家事とシャドーワーク 第 8 週　職場リサーチ(1) 第 9 週　職場リサーチ(2) 第 10 週　職場リサーチ(3) 第 11 週　職場リサーチ(4) 第 12 週　ワークライフバランス 第 13 週　ライフプランの作成(1) 第 14 週　ライフプランの作成(2) 第 15 週　まとめ ＜教科書・参考書・教材と入手方法＞ 教科書　なし 参考書　宮下一博『大学生のキャリア発達』ナカニシヤ出版　2010 佐藤博樹・武石恵美子『男性の育児休業―社員のニーズ、会社のメリット』中央公論社 2004 大沢真知子『ワークライフバランス社会へ―個人が主役の働き方』岩波書店　2006 ＜成績評価法＞ ・授業への参加（授業中の発言、コメントシートへの記述などをとおして、講義の内容を理解しているかどうかで評価する）60% ・レポート（専門用語を用いた論述であること、根拠を示して理論的に意見を展開できているかどうかで評価する）40% ＜教員からのメッセージ＞ 30 歳になった時、60 歳になった時、あなたはどのような生活をしていますか。大学卒業後の仕事や家庭について考えてみましょう。		